



相生小学校

風の子 太陽の子

学校便り
No. 10
R7.10.1

運動会に向けて

校長 小林 延和

9月27日の参観会ではお忙しい中、御参加いただきありがとうございました。また、PTA親子奉仕作業にも多くの方々に御参加いただき、学校中がきれいになりました。御協力ありがとうございました。

さて、先日まで、国立競技場で世界陸上が開催されていました。テレビの中継に釘付けになった人も多いのではないのでしょうか。日本選手だけでなく、他国の選手の感動的なシーンをたくさん目にすることができました。出場したどの選手も、自己の力を最大限に発揮すべく懸命に頑張っていました。私は、金メダルを目指して、失敗を恐れず、今自分ができる限界に挑戦する姿に感動を覚えました。また、日本選手が一昔前の悲壮感のある姿とは違い、笑顔で競技に向かう姿が多かったことが印象的でした。

また、少し前のことになりますが、夏の高校野球では、県立岐阜商業の横山選手が左手指欠損というハンディを克服し、大活躍しました。その横山選手が、準決勝で負けた翌日恩師の先生に送ったメールのことが記事になっていました。そのメールには「大学でももっとレベルアップできるように顔晴るていきます!!」と書かれていたそうです。普通、「がんばる」は「頑張る」と表記しますが、ここでは「顔晴る」と書かれています。これは恩師の先生の「どうせ厳しいことをするなら顔を晴れやかにやろう。」という思いからだそうです。困難に耐えて努力する「頑張る」に対して、つらいときこそ、さわやかに笑って前を向く「顔晴る」。相生小学校でも10月25日の運動会に向けて練習が始まりました。まだまだ暑い日が続いていますが、どの学年の子供たちも集中して練習に取り組んでいます。その様子に「さすが、相生の子供たち」と感心しています。運動会本番だけでなく、練習でも「顔晴るている」子供たちに、どうぞ大きな御声援をお送りいただきますようお願い申し上げます。



奉仕作業の様子



生き生きタイムのクラススポーツの様子



温かく
かかわる力



自分を
高める力



あきらめずに
挑戦する力



夢をもち
つなげる力



浜松市立相生小学校
キャリア教育を
推進しています。